

BALLY

倫理規定

目次

CEO ニコラ・ジロットからのメッセージ – p. 3

当社の目的とステークホルダー – p. 5

当社の理念と価値観 – p. 5

行動規範 – p. 6

倫理規定の適用 – p. 17

実施とモニタリング – p. 18

CEO ニコラ・ジロットからのメッセージ

今日の世界でレガシーを持ち、長年にわたり存続している優れたブランドになるためには、有言実行性が求められています。1851 年以来、バリーは常に目的とビジョンを持ち、道徳観に基づいて積極的に変革を推し進めてきました。バリーは、法令を遵守する一方で、各国の従業員とグローバルコミュニティに配慮しつつ利益をもたらすことに取り組み、環境保護への深い意識と情熱を持っています。

非日常を追求する中で、大胆な革新性を持ちながらも時間の試練に耐え抜かれた一貫性のあるクラフトマンシップにより、現代人に沿った控えめなラグジュアリーを創造しています。このこれは、国籍、地域や会社での肩書きにかかわらず、個々の従業員、株主、パートナー、チームとして倫理を第一に考えるという当社のコミットメントからなるものです。

以下の倫理規定は、私たち一人ひとりが従うべき羅針盤となるものであり、私たちの日々の活動を形作り、私たちの人との交流やさまざまな関係を深める上での指針となり、また社内外での業務遂行のあり方を規定しています。誠実性、尊敬、責任、および忠誠心に重点を置き、説明責任と良識の道しるべとなります。

あらゆる形態の汚職、差別、ハラスメント、ならびに強制労働および児童労働に対しては例外を許さないゼロ・トレランスのアプローチで、人権に対する尊重の念が詳述されています。本規定はまた、機会均等を保証しているため、当社の従業員の健康と安全を守ります。

人材を育成し信頼を促進する、刺激的で勤労意欲を高める職場環境を提唱しながら、効果的、客観的、プロフェッショナル、透明性を保つことができます。これらは私たち全員がお互いに当然のこととして期待すべきことであり、私や経営陣にも期待される非常に原則的な基準となります。

当社の事業および業界に対する長年のコミットメントの実践を強化するため、私たちは環境負荷を削減するための一連のマイルストーンとなる取り組みを定めました。当社は業界他社とともに、より実現可能な未来を確保するための環境目標を定めた世界規模の Fashion Pact（ファッション協定）に加盟しただけではなく、世界の山岳保全の取り組みの支援に特化した Peak Outlook 財団を設立し、短長期目標を掲げたサステナビリティ・ロードマップを発表しましたが、これからも精力的に邁進いたします。

この行動規範をよく理解し、普段から実践してください。一日一日が過ぎるごとに私たち自身がさらに向上していただくだけでなく、共に変化のための強力な原動力になるものと思っています。皆さんが誠実かつ公正であること、また将来の進歩に向けて私たちに求められていることを満たしながら共に歩んでいることに対して感謝しています。当社のビジネスが次の世代も続くことができるよう祈念しています。

CEO ニコラ・ジロット

当社の目的とステークホルダー

本倫理規定は、バリーの社員全員および第三者パートナーが、バリーのために、または、バリーを代表して遂行する業務に関連する最高水準の誠実性とプロフェッショナリズムを保証するために遵守しなければならないバリーの基本理念と価値観に基づいて書かれています。

本倫理規定ならびにその原則および規定は、取締役、執行役員、従業員の全員、およびいずれかのバリー事業体（総称して「受託者」と呼ぶ）と、直接的または間接的に、永続的または一時的に、関係を結ぶすべての関係者を含むバリーグループ全体に適用されるものです。本倫理規定に含まれる原則と現地の準拠法が一致しない場合は、より厳格な制限条項が適用されるものとします。

当社の理念と価値観

バリーは、ブランドとレガシーに忠実に、以下の倫理基準に取り組んでいます。

- 誠実性
- 忠誠心
- 尊敬
- 責任感

誠実性はバリーの倫理規定の中核となるもので、当社の文化、歴史、および社会的名声を形成するものです。バリーの受託者は、いかなるビジネスを行うにあたって、またそれぞれの職場環境においてビジネスを行うにおいても、誠実性と敬意を持って行動し、相互関係および尊敬に対する相利共生のビジネスモデルを作り出し、株主、従業員、顧客およびコミュニティに対して利益をもたらすものとします。

受託者は、いついかなるときでもバリーを代表して働き、バリーのコミュニティとやり取りを行う際は、説明責任と道徳的責任を念頭に置いて世界中で倫理的に行動しなければなりません。

当社の倫理規定は、当社ブランドを保護し、バリーの全世界におけるビジネス慣行の一貫性を保証するものです。これは、当社およびその従業員が健全な職場環境を作る上でどのように相互作用すべきかを規定し、さらには当社を守りながら社外ではどのように行動すべきかをも定義します。

行動規範

従業員

バリーは、チームの専門的な健康と福祉を守り、スタッフの成長と才能を育成し、すべての従業員が前向きで刺激的な職場環境を確保する人事の価値を認識しています。人権、個人の保護、健康と安全、機会均等および無差別を保証し尊重する、安全な職場環境の推進に努めています。

人権の尊重と個人の保護

バリーは、世界人権宣言に定義されている人権の持続と促進の重要性を認識し、また受託者を含むすべての人たちの人権を尊重しています。

バリーは、強制労働と児童労働だけでなく、いかなる形態の虐待的採用や不当な雇用を断固として拒否します。バリーはまた、職場におけるあらゆる種類の身体的、言語的、性的または心理的ハラスメント、虐待、脅迫、威嚇を強く拒否し、バリーが事業を展開する国々においては労働時間や賃金の決定に関しても、良好で尊重される労働条件を確保しています。

以下のことが正当に求められています。

- 差別およびハラスメントのない職場を保証すること。
- 児童労働からの保護、女性の保護および／または移民人身売買に起因する労働の違法使用に関する規則にいかなる方法でも違反する個人と、直接的または間接的にいかなる種類の関係を維持してはならない。
- 威圧的、攻撃的、敵対的な職場環境を作り出すあらゆる形の脅迫、威嚇、ハラスメント、虐待（性的ハラスメント、言語や攻撃的な態度、人種、民族、性的、宗教的な侮辱）を禁止すること。
- 従業員の自由連合権および団体交渉権を認めること。

健康および安全

バリーが事業展開するすべての国々において、オフィス、生産工場、店舗を問わず、バリーの敷地内に入るすべての顧客、コンサルタント、従業員、サプライヤー、訪問者の健康と安全を守ることを約束します。

バリーは、職場の健康と安全に関する法律を完全に遵守し適用します。

そのために、バリーは従業員に対して健康と安全に関する規制について適切なトレーニングを実施しています。

バリーは、設備、機器、取付けおよび職場の定期メンテナンスを実施するとともに、安全に動作するための革新的な技術やシステムを採用しています。

また、すべての従業員が仕事とプライベートを健全に保つための対策を講じています。

それにより、従業員には以下のことが求められます。

- すべての業務活動において慎重に行動し、身体的、言語的に関わらず、あらゆる種類の攻撃を避けること。
- 予防の文化の推進者となること。
- 自分自身または他人の安全を危険にさらさないために必要なすべての予防措置をとること。
- 業務遂行の低下や不適切な行動に繋がること、他人の安全を危険にさらすこと、現地の法律に違反することに繋がるようなアルコール飲料の過度な提供を職場および主催イベントにおいて行わないこと。
- 違法な薬物やその他の物質を使用したり、職場でのパフォーマンスを阻害したり、自分自身や他人をセキュリティ上のリスクにさらしたりしないこと。
- セキュリティ違反または潜在的に危険な行動および状況があった場合、上司または人事部に直ちに報告すること。
- 健康および安全に関する行動基準を、サプライヤーに代わって、そのポリシーに沿って定義し採用すること。

機会均等と差別の禁止

バリーは、雇用条件と機会均等、多様性と包括性、表現の自由を保証し、尊重することを約束します。

バリーは、年齢、信条、肌の色、身体障害、民族的出自または国家的背景、家族形態、性別、病気、言語、婚姻状況、個人的または政治的意見、妊娠、人種、宗教、または性的指向に基づいた従業員に対するあらゆる形態の差別やあらゆる種類のハラスメントを拒否します。バリーは、採用および選考プロセスや職場環境の両方において、威圧的、威嚇的、攻撃的または性的振る舞いを禁止します。

従業員はハラスメントや差別を直属の上司または人事部に直ちに報告する必要があります。直属の上司と人事部は従業員を保護する義務があるため、報告された機密内容を常に保持する権限を与えられてはいません。もし従業員が報告した内容を専門的に機密事項として保証する必要がある場合は、嫌がらせや差別をCODEOFETHICS@BALLY.CHへ報告することができます。

刺激的で意欲的な労働環境

バリーは、最も優秀な人材を惹きつけ、採用し、育成することを目指し、また信頼関係に基づいた同僚間の関係を促進する充実した職場環境を提供しています。

バリーでは、社員が常に品質を重視して業務を遂行することを奨励しており、管理職は模範となるリーダーシップを発揮することを重視しています。

全従業員は、組織内での役割に関連して、特定の機能目標と管理目標に向かって仕事をしており、年に一度、それぞれの直属のマネージャーによって評価されます。

従業員関係は、業績と機会均等の方針に基づいて、個々の能力とスキルを伸ばすという明確な視点で管理されています。各従業員は、チームやプロジェクト内において必要な情報を伝達、交換し、普及させる重要な義務を負っています。知識を必要とする人に知識を提供することは、より良い結果と効率の向上につながり、同僚が自分のスキルや才能を最適かつ生産的に活用できるよう促します。

バリーは、コラボレーションとチーム精神を推進し、あらゆるレベルの社員がお互いを大切に、尊重し合う風土を維持するために協働し合うことを期待しています。

知的財産

バリーは、重要な工業所有権および知的財産権を所有していることから、適切な管理が重要となります。したがって、著作権のある素材、デザイン、画像、発明、ロゴ、特許、登録商標、企業秘密などの知的財産権を保護することを目的としています。

バリーでは、工業所有権および知的財産権に関する法律を完全に遵守し、企業活動においてオリジナルの製品および著作物のみが使用されていることを保証します。

それにより、従業員には以下のことが求められます。

- 第三者の工業所有権を侵害する可能性のある行為を控えること。
- 当社グループの登録商標または知的財産権を必要な許可なく、また承認されたライセンス契約なしに第三者に使用させないこと。
- 第三者がブランドの専有素材を不正または不適切な方法で使用することを許可しないこと。
- 知的財産を最大限の正確性、注意、機密性に持って保護し、第三者に開示する場合は機密保持契約の枠組み内で、厳密に必要な場合に限り、事前の許可を得てからにすること。

守秘義務とプライバシー

バリーは事業活動の一環として、大量の機密情報や個人情報、センシティブなデータを収集しています。

バリーは以下に従事しています。

- 適用されるすべての法律およびその問題に適用されるベストプラクティスに準拠して本データを取り扱うこと。
- 当該情報の不適切または違法な使用を回避すること。
- いかなる形態の違反や悪用に対しても、保護を保証するための特定の技術的措置だけでなく、利害関係者に適切な情報を提供することを目的とする手順を採用すること。

バリーには、当社に関するすべての極秘、秘密または機密情報を保護する意図もあります。以下は機密情報と見なされるものの例ですが、これらだけに限定されるものではありません。

- 会社プロジェクト(商業、財務、産業、事業計画、戦略計画)
- 価格表
- 投資および売却計画
- 協働者、顧客、従業員およびサプライヤーに関するデータ
- ノウハウやプロセスに関する情報
- 買収または合併計画と会社の同意事項

以下のことが求められています。

- 会社の資産を保護するために、受託者の雇用や職務関係に関連して受託者が認識または保有するバリーの独占財産権、全てのデータ、情報、ニュースを保存し、保護し、かつ厳格に機密保持すること。
- 個人データを正しく使用し、かつ明確で正当かつ特定の目的のために使用すること、収集された目的だけに必要となるまで保管すること。
- 第三者が知られないような方法でデータを保存すること。
- 会社が解散した後も、雇用や協力関係が終了した後も、機密情報を開示しないこと。
- 公共の場やメディアで開示された口頭および書面による情報に特に注意を払うこと。
- 情報の正確性、統一性、一貫性を保証するため、メディアとの接触を特定の業務のみに制限すること。

会社の資産

バリーは、各協働者と従業員に対して職務遂行のためにそれぞれ異なる会社資産を利用できるようにしています。これらの会社資産には、書籍、車、コンピュータ、事務機器、雑誌、携帯電話ならびに商品サンプルおよび試作品などが挙げられますが、これらに限定されません。

すべての会社資産はバリーの独占的所有物であり、業務目的のみに使用し、違法または不適切な使用は避けなければなりません。すべての従業員には、会社資産に対してはきめ細かく注意を払い責任を持ち、かつこれらの資産を損害、横領、盗難または紛失のリスクから保護しなければなりません。

すべての会社資産は、雇用関係が終了した場合や会社が要求した場合は速やかに返却されなければなりません。

バリーは、従業員に以下のことを求めています。

- 会社の資産の保存、保管、保護、および適切な方法での使用、会社の利益を遵守することに責任を持つこと。
- コンピューティングリソースは業務目的にのみ使用者に付与されます。
- コンピューティングリソースの個人使用は常識の範囲内で許可されますが、以下に該当する場合は制限されます。
 - 生産性を阻害する。
 - バリーの任務または業務を妨げる。
 - バリーのセキュリティポリシーおよびプライバシーポリシーに違反する。
- ITセキュリティに関する会社の手続きおよびポリシーに遵守すること。
- 法律に違反してITシステムを使用したり、企業または他のITシステムに対してすべての形態の不当な損傷または侵入を試みることを避けること。

顧客

バリーでは、正当性、正直さ、公平性、誠実性、合法性、プロフェッショナリズムおよび透明性の価値から導き出される強固な関係を構築することを全社的な目標とし、お客様のニーズを十分満足させることを基本にお客様との関係を構築することを目指しています。

バリーは以下のことを目指しています。

- 販売される製品は最高水準を満たしていることを保証すること。
- お客様が十分な情報を基に購買判断を行うことができるよう、製品に関して正確で完全な真実の情報を提供すること。
- お客様と透明性のあるコミュニケーションを促し、提供される製品の品質、数量、原産地についてお客様に誤解を与えるような行為をしないこと。
- お客様からの提案を取り入れ、苦情を解決するための献身的な注意と配慮を保証すること。

- 製品は全ての国々で施行されている法律に準拠し、安全性（使用する材料や化学物質の安全性など）の観点からも、品質を追求し、様々な事業活動の継続的な改善を確実に行うこと。
- コミュニケーションは企業価値に沿ったものであり、人間の尊厳を尊重し、差別的ではなく、暴力行為や危険な行動パターンを招くものではないように、細心の配慮と気配りを持って定義することを徹底すること。

環境

バリーは、環境関連の法規制を完全に遵守し、環境を尊重し、保護しながら、経済成長と価値創造のバランスのとれたアプローチを目指します。

また、環境に対する責任ある行動を推進し、環境の重要な保護に貢献することにより、環境を尊重する文化の普及に努めます。バリーは、施設（オフィス、店舗、倉庫）や生産現場、活動、物流、製品、サービス、サプライヤーへの影響を最小限に抑えることで、環境パフォーマンスを継続的に向上させています。

バリーは以下のことを目指しています。

- 適用されるすべての環境規制を遵守すること。
- 環境への影響を最小限に抑え、エネルギーや水の消費量、原材料や潜在的に危険な物質の使用、廃棄物の発生、温室効果ガスの排出、その他すべての汚染物質を削減すること。
- 環境リスクを最小限に抑えること。
- 環境への影響と環境性能を測定するために製造プロセスを継続的に監視すること。

取引先・競合他社

汚職

バリーは、事業展開する全ての国々において、贈収賄を含むあらゆる形態の汚職行為を撲滅することを強くコミットしています。

贈賄とは、仕事上の立場を使って相手に計画された活動を実行するよう、または実行しないように誘導したり、あるいはそのことを助長したりする目的で不当な利益を提供したり、約束することを意味します。

収賄とは、仕事上の立場を使って計画された活動を遂行したり、遂行しないように誘導したりする目的で、相手からの不当な利益の申し出または約束を受けることを意味します。

バリーは以下のことに取り組んでいます。

- 税関手続き、税務争訟、税金および関税の支払い、ならびに代理人、現地コンサルタントまたは第三者仲介者が介入するような許認可などに関して、公務員が汚職されていないことを確認すること。
- 代理店、ビジネスパートナー、コンサルタント、顧客、代表者、政党、公務員、サプライヤー、その他の個人または組織に対して、直接的または間接的に、贈答品（価値が妥当なものであり、かつ不適切な利益に影響を与える、またはそのような利益を確保することの意図がない場合を除く）、金銭、いかなる種類のサービスを受け取ったり、提供してはいけません。
- 不正行為の疑いを生じさせたり、代理店、ビジネスパートナー、コンサルタント、顧客、代表者、政党、公務員、サプライヤー、その他の個人または組織の業務に条件を付けて影響を与えたいと思っているという印象を与える可能性のある代理権費用を避けること。
- 虚偽の店舗の許可やライセンスを取得しないこと、許可やライセンス取得のプロセスを不当に迅速化しないこと、店舗の管理活動や検査を遅らせたり、阻害したりしないこと。
- 監査結果に影響を及ぼすことを避け、監査の正当な実施を保証し、また要求される書類や情報を完全な方法で利用できるようにすること。
- 寄付または公的資金の要求に対する適切な書類の作成や支払い先の公共団体の公務員との関係の管理においては、最大限の正当性および透明性を保証すること。

- 違法行為に繋がる資金を形成する可能性を防止すること。
- 規制当局および公的機関の自主性を尊重することを保証するとともに、機関や政党の代表者との正常な関係を管理すること。

利益相反

バリーは、誠実さと公正さの価値観を尊重し、利益相反の原因となる事態を防止し、回避するために必要なあらゆる措置を講じます。

バリーは、会社の利益のために行動することを唯一の目的とした意思決定や事業活動を行うことを求めます。

例えば、以下のような場合に利益相反が生じる可能性があります。

- 顧客、競合他社、サプライヤーとの間に、家族を含めた経済的または金銭的な利害関係がある場合。
- 従業員が客観的かつ効果的に業務を遂行することを困難にする行為または利益を有している場合、従業員またはその家族の一員が会社内の地位により不適切な個人的利益を受け取る場合は、「利益相反」が発生する可能性があります。
- 職場で親族や個人的な関係がある者を採用すること。管理職にある者が直接的または間接的な上下関係となる人物に親族を採用したり、そのような関係にある親族が職場にいる場合、上下関係にある社員同士が結婚したり、同棲したり、その他の関係がある場合は、「利益相反」が発生する可能性があります。
- 他社のために働く：従業員が他社のために他のビジネスや専門的活動を行ったり、他社の従業員または代理人になる場合は、「利益相反」が生じる可能性があります。

バリーは、従業員に以下のことを求めています。

- 個人的利益が会社のニーズや利益を妨げる可能性がある利益相反を避けること。
- 自身または同僚の利益相反と見なされる可能性があったり、判断される可能性がある場合は、それが潜在的なものであっても、直属の上司および人事部に報告すること。

反マネーロンダリング

バリーは、マネーロンダリング、セルフロンダリング、および犯罪活動への資金提供に反対する法律を厳格に遵守します。

受託者には以下のことが求められています。

- マネーロンダリングの防止とその撲滅を支援するために、異常な状況に気づいた場合は直ちに報告すること。
- 取引先に関して入手可能な情報を徹底的に検証し、取引先がマネーロンダリング犯罪に関与する可能性があるとは合理的に疑われる場合は、取引または金融取引の開始または継続を避けること。
- 法律で許されている限度額と金額の範囲内でのみ、現金支払いを行い、受諾すること。
- 紙幣、硬貨、その他の支払方法の偽造・贋造の防止、撲滅、抑圧のために、その所轄官庁との十分な連携を確保すること。資金管理においては、合理的な業務慣行の中で、受領する金銭源の合法性と正当性に疑惑を生じさせるような不規則な行為が容認されることがあってはならない。

サプライヤー

サプライヤーは私たちのパートナーです。このため、サプライヤーと取引する必要がある人は法律や規制を遵守しながら、常に最大限の正当性とプロフェッショナリズムを発揮し、強固で持続的な信頼関係を構築することを奨励しなければなりません。

サプライヤーを選定する際は、費用対効果、正当性、客観性、プロフェッショナリズム、製品やサービスの品質、透明性などの原則を重視しています。特にバリーは、プロフェッショナリズムを追求し、本倫理規定の内容と原則を完全に共有しています。

購買プロセスは、競争を保護するための法律と原則を尊重することを基本とし、プロセス自体の最大限の効率性と透明性を保証します。また、最大限の競争上の優位性を追求し、必要な機能を持つ各サプライヤーに対する正当性および公平性を確保することが求められています。

バリーは、プロフェッショナリズム、良好な評判、関係の正当性を判断し、犯罪組織に属しているか、犯罪組織を支援する疑いのあるサプライヤーや、適用される規則や確立された共有原則に準拠しない行動を取るサプライヤーとの関係は避けています。

倫理規定の適用

本倫理規定は手引きとして使用されるべきですが、業務の中で発生する可能性のあるすべての状況を網羅した文書であると理解されるべきではありません。

特定の行動規則に関連するいかなる質問や、本規定に記載されている事項について明確にする必要がある場合は、受託者はその上司、人事部、法務部または内部監査部に連絡してください。

本倫理規定における原則、価値、および行動規則は、バリー社内および第三者にも周知されています。

本倫理規定は、バリーのウェブサイトおよびバリーポータルで入手やアクセスが可能です。

さらに、本倫理規定はバリーの協力会社(外部コンサルタント、顧客、サプライヤー等)にも、特定の契約条項を使用することにより、採用されるべきものになっています。

バリーは、その協働者が本倫理規定に想定されている原則と規則を完全に理解することができるよう、その協働者に対してトレーニングコースの作成を推進します。

実施とモニタリング

本倫理規定に含まれている原則および行動規則に従わない場合は、倫理規定の違反と見なされ、重大な契約違反となります。

したがって本倫理規定の原則に従わない場合は、場合によっては懲戒処分や罰則の適用、または雇用や商業契約の解雇となる可能性があります。

- バリーの従業員および協働者の場合、当該違反は雇用関係に起因する義務の不履行と見なされ、雇用関係の継続性が損われ、かつ損害賠償の法的措置も組み込まれる可能性のある規律違反と見なされることがあります。
- 非雇用者の場合、本規定を遵守することが、バリーとの既存の協働関係を継続するための前提条件となっています。
- したがって、本規定の規則に違反した場合、契約上の義務の不履行と見なされ、契約の終了ならびに配属に関連してあらゆる法的な結果をもたらす可能性があり、バリーまたはグループ会社が被る損害の賠償につながる可能性があります。

倫理規定違反の報告

すべての受託者は、本倫理規定を遵守し、ここに定める原則および規則に従わない行為を報告しなければなりません。

現地の法律で許容されていない限り、違反に関する問い合わせや報告は匿名で行うことができます。ただし、詳細やフォローアップ情報を得るために受託者が自分の名前や連絡先を提供していただくと助かります。

バリーでは、情報提供者の匿名を保護し、施行されている法律に従って各々の報告を機密事項として扱い、情報提供者がいかなる報復の対象にもならないことを保証しています。

本規定の違反に関する報告は、書式または以下の電子メール宛てにバリーに連絡することができます。

CODEOFETHICS@BALLY.CH